

【受益者の皆様へ】

2013年5月31日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村エマージング・ソブリン 円投資型」各ファンド*の2013年5月の基準価額の動きについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村エマージング・ソブリン 円投資型」各ファンド*の基準価額の動きについてご案内いたします。

以下に各ファンドの基準価額、「野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド」(以下、マザーファンド)の基準価額の推移、足元の投資環境と今後の運用方針をご報告いたします。

*各ファンドは「野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド」をマザーファンドとするファンドです。対象ファンドは下表のとおりです。

【2013年5月30日現在の各ファンドの基準価額】

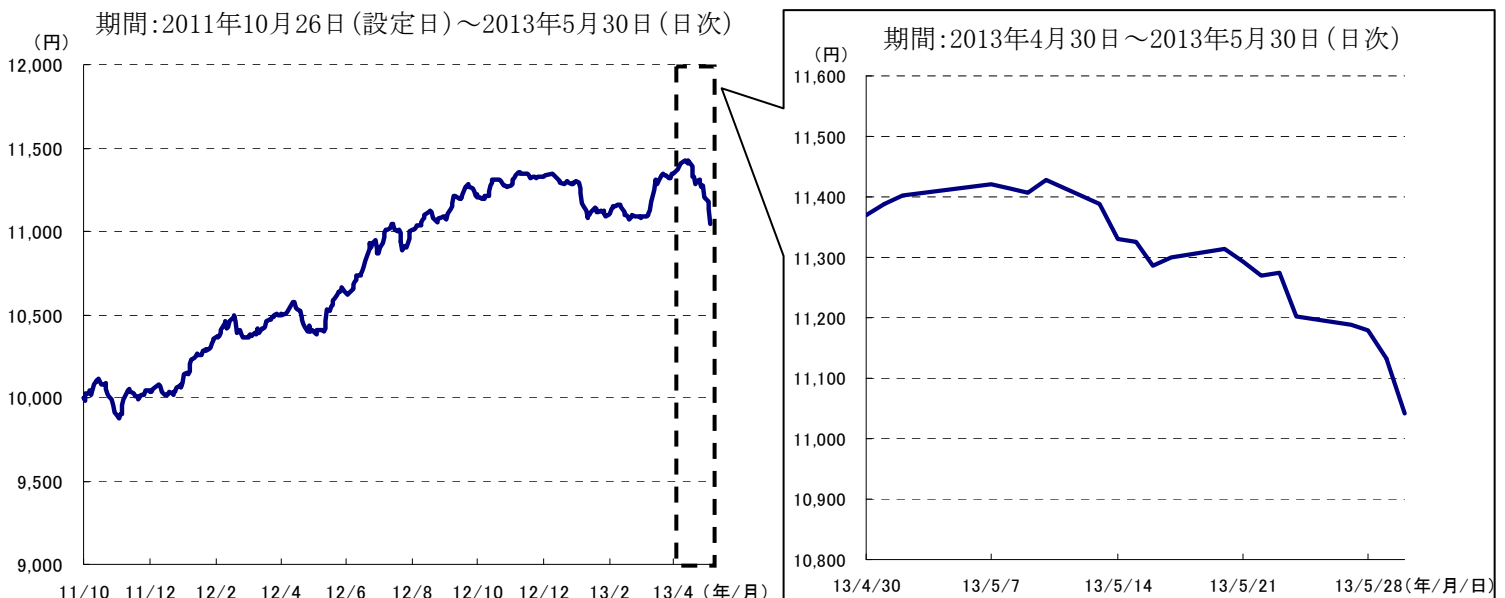
※1口当たり、課税前

各ファンド	基準価額	(ご参考) 基準価額 (分配金再投資)	(ご参考) 分配金額 設定来累計**	設定日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	10,397円	10,851円	450円	2011年10月26日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	10,537円	10,991円	450円	2011年11月28日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	10,212円	10,511円	300円	2012年3月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	10,200円	10,496円	300円	2012年5月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	9,733円	9,925円	195円	2012年8月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	9,674円	9,791円	120円	2012年10月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	9,564円	9,683円	120円	2012年11月29日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	9,640円	9,700円	60円	2012年12月26日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	9,742円	9,800円	60円	2013年1月30日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	9,833円	9,892円	60円	2013年2月27日
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	9,940円	9,940円	0円	2013年3月27日

- ・基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【マザーファンドの基準価額の推移】

マザーファンドの基準価額は設定来概ね堅調に推移してきたものの、2013年4月30日から2013年5月30日までの期間で見ると約2.9%下落しました。当該期間の基準価額下落の要因を次ページ以降でご説明いたします。



— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減を図りますが、完全に排除することはできません。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。

【足元の投資環境】

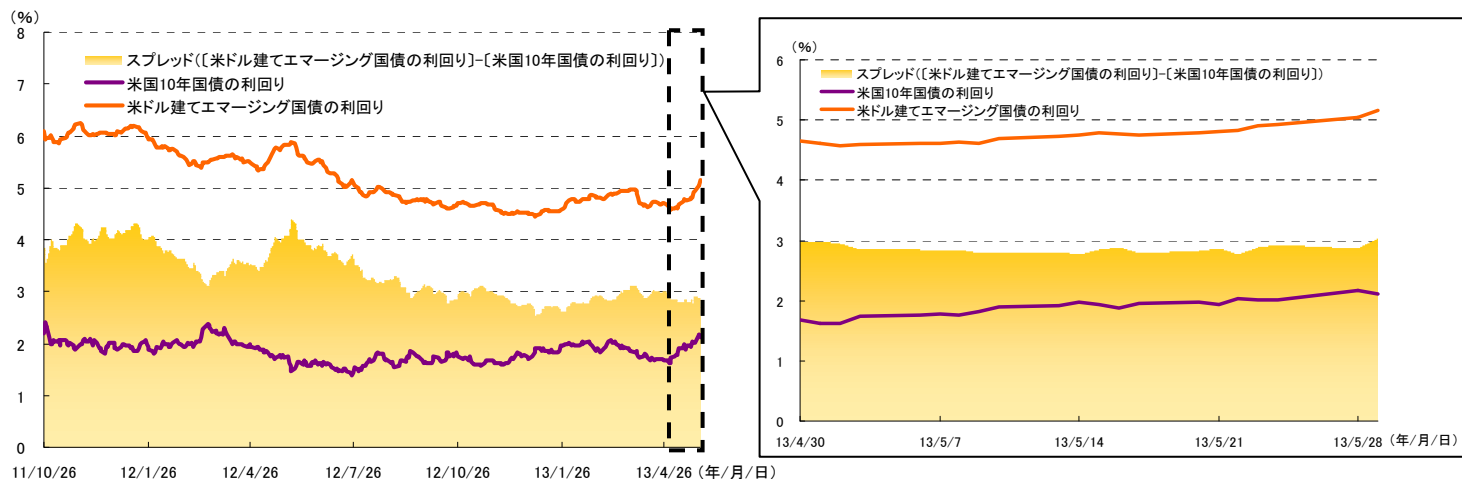
マザーファンドが投資する米ドル建てエマーキング国債の利回りは、足元上昇傾向となりました。これは主に、米ドル建てエマーキング国債の基準金利である米国10年国債利回りが上昇（価格は下落）したことによるものです。

米国では、5月に入り景気回復への期待が高まる中で、米国10年国債利回りが上昇しました。米国の雇用統計(4月)において、失業率の低下や非農業部門雇用者数の大幅な増加が確認されたことをきっかけに、1%半ばで推移していた米国10年債利回りは上昇に転じました。中旬から下旬にかけて、米小売売上高(4月)や米消費者信頼感指数(5月)など市場予想を上回る経済指標が相次いで発表されたことを受けて、米国10年国債利回りは一段と上昇し足元2%を超える水準に達しました。

《米ドル建てエマーキング国債・米国10年国債の利回り(課税前)とスプレッドの推移》

期間： 2011年10月26日～2013年5月29日(日次)

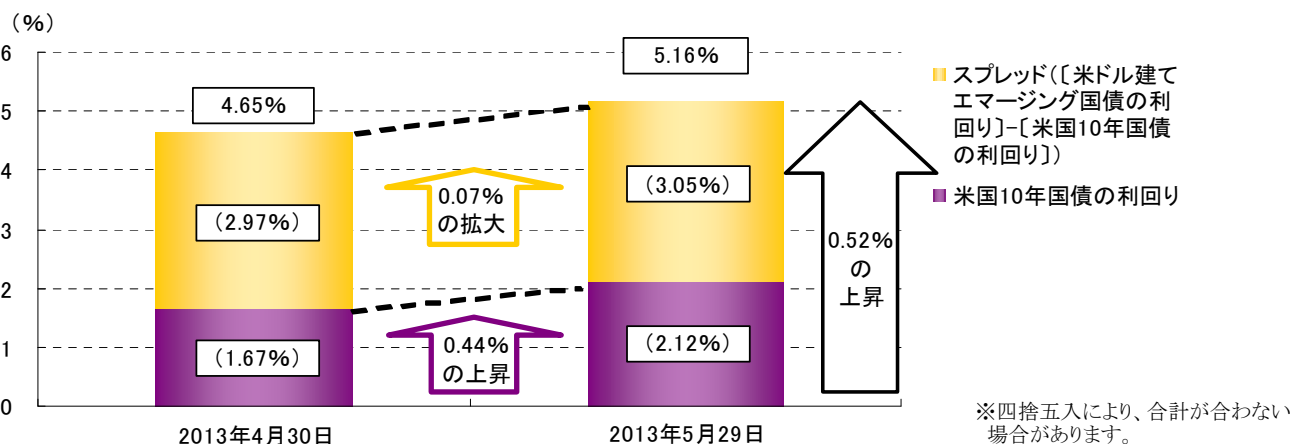
期間： 2013年4月30日～2013年5月29日(日次)



米ドル建てエマーキング国債:JPモルガン・エマーキング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル 米国10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック10年国債 (出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

一方、米ドル建てエマーキング国債の米国10年国債に対するスプレッドは、4月末と比べて小幅の拡大となりました。2013年4月30日と2013年5月29日の米ドル建てエマーキング国債の利回り、米国10年国債の利回りおよびスプレッドの変化は下記グラフのとおりで、米国10年国債の利回り上昇の影響が大きく、米ドル建てエマーキング国債の利回りは上昇しました。

《2013年4月30日と2013年5月29日の米ドル建てエマーキング国債の利回り(課税前)の変化》



米ドル建てエマーキング国債:JPモルガン・エマーキング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル 米国10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック10年国債 (出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減を図りますが、完全に排除することはできません。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。

【今後の投資環境の見通し】

米国では、個人消費、住宅、雇用関連の経済指標の強さを受けて、景気回復への期待が高まっています。一方で、「財政の崖」をきっかけとした財政赤字問題の影響を受けて、財政支出削減の景気への悪影響も懸念されており、米国景気は、年後半に向けて回復方向に向かうものの、そのペースは緩やかなものになると想定しています。

このような環境下で、FRB(米連邦準備制度理事会)は現状の大規模な金融緩和政策を当面維持する可能性は高いと思われ、米国10年国債利回りは、当面2%近辺での横ばい推移を継続すると考えています。一方で、新興国各国の信用力は引き続き改善していく方向に変わりはないと考えており、米ドル建てエマージング国債の対米国10年国債スプレッドも安定した推移となると思われ、米ドル建てエマージング国債の利回りは、中期的に一定水準で安定した推移となると考えています。

【今後の運用方針】

今後、米国景気は回復方向に向かうものの、そのペースは緩やかなものになると想定しており、米国の金融緩和政策は当面の間変更される可能性は低いと思われ、米国債の利回りは今後、低位安定した動きとなると考えており、当ファンドのデュレーションについては、基本、現状の水準を維持することを想定しております。

*デュレーションは、金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。

マザーファンドが投資する8カ国については、中長期的にファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が良好な国々であると考えており、引き続き投資を行なっています。

今後につきましても、これまでの方針通り、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準や投資環境等を勘案して選定した新興国の米ドル建て債券への投資を継続いたします。

今後とも「野村エマージング・ソブリン 円投資型」各ファンドをご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

《当資料で使用した市場指数について》

- JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減を図りますが、完全に排除することはできません。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。